

# 指導と評価の年間計画(芸術(美術)科) <例>

岐阜県立〇〇〇〇高等学校

|     |      |       |   |          |      |      |  |
|-----|------|-------|---|----------|------|------|--|
| 科目  | 美術 I | 学年    | 1 | 指導クラス    | 〇年〇組 | 指導者名 |  |
| 単位数 | 2    | 使用教科書 |   | 副教材・問題集等 |      |      |  |

## 1. 科目の目標

|   |
|---|
| <p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p> |
|---|

## 2. 評価の観点の趣旨

| 知識・技能 a (※1)  | 思考・判断・表現 b (※2)   | 主体的に学習に取り組む態度 c   |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象や事象を捉える造形的な視点〔共通事項〕について理解を深めている。【知識】</li> <li>・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。【技能】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。</li> </ul> |

※1「知識・技能」は、「造形的な視点を豊かにするための知識」と「創造的に表す技能」とに整理し、二つにわけて示している。

※2「思考・判断・表現」は、「A表現」で育成する「発想や構想」に関する資質能力と「B鑑賞」において育成する「鑑賞」に関する資質能力とに整理しているが、「発想や構想」と「鑑賞」の双方に重なる資質・能力をまとめて示している。

## 3. 指導及び評価計画

| 月      | 領域項目                  | 題材                | 予定時間   | 主な学習活動(指導内容)と到達目標   | 評価の場面・方法                                   | 評価の観点  |                  |        |
|--------|-----------------------|-------------------|--------|---|--|--------|------------------|--------|
|        |                       |                   |        |   |  | a      | b                | c      |
| 4      | B鑑賞                   | オリエンテーション「美術とは何か」 | 1      | a. 造形の要素の働きを理解し、絵画における造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などを自分なりに捉えることを理解する。<br>b. 絵画の造形的なよさや美しさを感じ取り、それが自己の体験や価値観などから生じることに意識的になり、作者の意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。<br>c. 主体的に絵画の鑑賞の創造活動に取り組む。 | 活動観察<br>ワークシート                             | ☑<br>☑ | ○<br>○           | ○<br>○ |
| 4      | 絵画<br>・<br>A表現<br>B鑑賞 | 「身近なものを描く」        | 3      | a. 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や絵の具などの特性を生かして表す。<br>b. 身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。<br>c. 身近なものの特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。                                 | 活動観察<br>ワークシート<br>アイデアスケッチ<br>制作途中作品<br>作品 | ○<br>☑ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○ |
| 4      | 絵画<br>・<br>B鑑賞        | 「視点と表し方」          | 1      | a. 作者の視点に着目し作品の表現の意図や工夫全体のイメージや作風、様式などを捉える。<br>b. 複数の視点から見た画面を組み合わせた作品の表現の意図や工夫について考え、鑑賞する。<br>c. 作者の視点に着目して、表現の意図や工夫を読み取り鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。   | 活動観察<br>ワークシート                             | ☑<br>☑ | ○<br>○           | ○<br>○ |
| 5<br>6 | 絵画<br>・<br>A表現<br>B鑑賞 | 「自画像を描く」          | 1<br>1 | a. 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え絵の具などの特性を生かして表す。<br>b. 人物の印象などを基に、構図や表情などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。<br>c. 自己や他者の内面を人物画に表す創造活動に主体的に取り組む。  | 活動観察<br>ワークシート<br>アイデアスケッチ<br>制作途中作品<br>作品 | ○<br>☑ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○ |
| 6      | 絵画<br>・<br>B鑑賞        | 「日本の美術」           | 2      | a. 空間、構図、色彩などの効果、全体のイメージや作風、様式などを捉える。<br>b. 屏風や掛軸、絵巻などのよさや美しさ、日本の美術の表現の特質、美術文化の継承と創造  | 活動観察<br>ワークシート                             | ☑<br>☑ | ○<br>○           | ○<br>○ |

|               |                             |            |     |  |  |        |                       |        |
|---------------|-----------------------------|------------|-----|--|--|--------|-----------------------|--------|
|               |                             |            |     | について考える。<br>c. 屏風や掛軸、絵巻などのよさや美しさなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。   |  |        |                       |        |
| 7             | 映像メディア表現<br>・<br>A表現<br>B鑑賞 | 「写真で表す」    | 8   | a. 写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、全体のイメージなどを捉え、カメラの特性を生かして表す。<br>b. 被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に、構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。<br>c. 写真表現の特性を生かして表す創造活動に、主体的に取り組む。                    | 活動観察<br>ワークシート<br>アイデアスケッチ<br>制作途中作品<br>作品 | ○<br>知 | ○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○ |
| 9             | デザイン<br>・<br>B鑑賞            | 「デザインの世界」  | 1   | a. 造形の要素の働きを理解し、デザインされたものの造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解する。<br>b. 目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。<br>c. 主体的にデザインの鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 | 活動観察<br>ワークシート                             | 知<br>知 | ○<br>○                | ○<br>○ |
| 9<br>10       | デザイン<br>・<br>A表現<br>B鑑賞     | 「ポスターで伝える」 | 1 3 | a. イラストや写真、文字の形や色、構成などの効果、伝達したいイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かし、計画を基に表す。<br>b. 伝えたいメッセージや伝える場面などを基に形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。<br>c. 伝えたい内容を効果的にポスターに表す創造活動に、主体的に取り組む。   | 活動観察<br>ワークシート<br>アイデアスケッチ<br>制作途中作品<br>作品 | ○<br>知 | ○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○ |
| 10            | 映像メディア表現<br>・<br>B鑑賞        | 「映像表現の魅力」  | 1   | a. 光や動きを生かした映像の効果、美しさや全体のイメージなどを捉える。<br>b. 映像表現の特質や表現効果、投影の工夫などを感じ取り、機器の特質を生かした創造的な工夫について考える。<br>c. 映像表現のよさや美しさなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。  | 活動観察<br>ワークシート                             | 知<br>知 | ○<br>○                | ○<br>○ |
| 11<br>12<br>1 | 映像メディア表現<br>・<br>A表現<br>B鑑賞 | 「映像で伝える」   | 1 4 | a. 画面の構成や時間の効果などに着目して、映像メディア機器の特性を生かして表す。<br>b. 目的や条件を基に、画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や音などの映像表現の伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。<br>c. 映像表現の特性を生かして表す創造活動に、主体的に取り組む。                               | 活動観察<br>ワークシート<br>アイデアスケッチ<br>制作途中作品<br>作品 | ○<br>知 | ○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○ |
| 1             | 彫刻<br>・<br>B鑑賞              | 「立体表現の魅力」  | 1   | a. 顔や手の表情、形や素材、空間などの効果、全体のイメージや作風、様式などを捉える。<br>b. 仏像彫刻のよさや美しさ、表現の特質、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考える。<br>c. 仏像彫刻のよさや美しさなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。                                    | 活動観察<br>ワークシート                             | 知<br>知 | ○<br>○                | ○<br>○ |
| 2<br>3        | 彫刻<br>・<br>A表現<br>B鑑賞       | 「塑像で表す手」   | 1 4 | a. 形や質感、量感、重心やバランス、動勢などの効果、全体のイメージなどを捉え、粘土などの材料の特性を生かして表す。<br>b. 対象の表情や動きから感じ取ったイメージなどを基に、形や質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。<br>c. 表情や動きを捉えて粘土で表す創造活動に、主体的に取り組む。                  | 活動観察<br>ワークシート<br>アイデアスケッチ<br>制作途中作品<br>作品 | ○<br>知 | ○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○ |
|               |                             |            | 7 0 |  |  |        |                       |        |